

初めてでも大丈夫！AIでイラストや資料を作ろう～気をつけたいのは著作権～

日時 令和7年6月11日(水) 19時～20時30分

場所 くまもと県民交流館パレア10階 会議室7

講師 村上 奈美 氏 (有限会社マリオネット代表取締役)

村上さんは「個々のデジタル格差を埋める教育の実践」がモットー。幅広い世代の思考力と伝達力を育む独自の指導スタイルで、AIを活用する能力を高めるとともに、トラブルに巻き込まれないための安全なAIの使い方を広めています。今回の講座の要点をまとめてみました。



●アカウント作成と管理

・サービスを効果的に利用するためには、アカウント登録が必要です。アカウントは、サービスを利用するための「鍵」となり、ID(メールアドレス、電話番号、ユーザー名)とパスワードを組み合わせで作成します。サービスごとに異なるアカウントをもうける場合、各サービスのIDとパスワードをきちんと記録し、管理することが重要です。

●プライバシーと情報入力の管理

・AIサービスに個人情報を入力してはいけません。
・会社でAIサービスを利用する場合、開示前の情報(未公開情報)は、(他に引用する可能性がある)AIに絶対に入力してはいけません。

●セキュリティ(詐欺サイトとマルウェア)

・詐欺サイトや偽のAIサービスに注意が必要です。
・無料の便利なソフトウェア(例えば、音声合成ソフトのVoice Boxなど)をダウンロードする際には、悪意のあるウェブサイトに気をつける必要があります。

●AIが生成する情報の信頼性

・AIからの情報は「正解」ではなく、「参考」として扱うべきであり、その情報をそのまま鵜呑みにしないことが肝要です。

●AIツール紹介

・**ChatGPT**=有料版(Plus)は、全ての機能が利用でき、応答速度が向上するほか、動画生成など利便性で無料版を上回っています。

・**Google Gemini**=YouTubeの動画リンクを入力すると、その動画の内容を文章で要約してくれるので非常に便利です。著作権に関しては厳しい対応がとられる傾向にあります。

・**Microsoft Copilot**=Word や Excel といったMicrosoft Office製品との連携に強く、Microsoft 365の契約者は追加金なしで利用できます。

・**Perplexity**=検索に特化したAIで、他サイトからの情報収集に長けていますが、著作権問題で提訴されるなどの事例もあり、注意する必要があります。

・**Sora**=OpenAIが発表した動画生成AIで、高い話題性を持っています。

・**Voice Box**=無料で利用できる音声合成ソフトで、入力したテキストを自然な合成音声に変換できます(ダウンロード時の注意が必要)。

・**Microsoft Designer/Canva**=AIによる画像・ポスター・ロゴなどのデザイン作成ツールです。

【特記事項】 私(筆者)は、AIツールのnotebook LMを使用。文書作成の参考にしました。